

佐世保市立春日小学校「学校だより」

桜のきせき



令和5年3月23日

No.49

文責：校長 稲葉裕美

令和4年度の本校教育へのご協力ありがとうございました。

校庭の桜のつぼみが膨らみ、1つ、2つ開花している枝が出始めました。早いもので、もう1年が終わります。

今年度は、コロナ禍ではありますが、できる限り、行事や集団活動を行いました。卒業式は、基本マスクをせずに実施できたことで、卒業生の輝くような笑顔を見ることができました。



また、PTA活動として、全学年で、工夫した親子レクをしていただいたことをありがたく思っています。親子で過ごす時間の幸せそうな子どもたちの表情や、親子で学んだことを生活の中で生かしていることに、PTA活動の意義と人と人のつながりの大切さを感じました。

今年度の教育活動が充実したのは、保護者の皆様、地域の皆様のご支援のおかげです。次年度も、春日小学校をよろしくお願いいたします。

輝く春日っ子

- 第10回 HOPECUP 少女バスケットボール大会 新人の部
コンソレーション第1位 春日小女子ミニバスケットボールクラブ
- HOPECUP 新人の部 最優秀選手賞 5年児童
- 県北地区小学生バレーボール U-10 大会
優勝 大野クラブ

春日小6年生の、ある男の子のお話です。

「ある日、帰宅途中に、具合の悪そうなおばあさんを見かけたそうです。『大丈夫ですか。』と声をかけると、おばあさんは『大丈夫。』と言って歩き出しましたが、きつそうです。心配だったので、そのおばあさんが家に着くまで見届けてから、自分の家に帰りました。」

これまで、『気づき・考え・行動する』というキーワードを繰り返し伝えてきました。この6年生の男の子の「やさしく声をかけ、見守る」という行動が素晴らしいと感心しました。このような姿も、「輝く春日っ子」だと、嬉しく感じました。

4月1日からのマスク着用について

文科省、県教委、市教委からの通知をもとにした、4月1日からの本校におけるマスク着用についてお知らせします。

1 マスク着用について

- 児童及び教職員については、マスクの着用を求めないことを基本とします。
- 家族の状況等、様々な事情でマスクの着用を希望する場合や健康上の理由からマスクをしない場合もありますので、児童や職員にマスクの着脱を強いることはしません。マスクの着用による差別・偏見等がないように指導を行いますので、ご家庭でもお声かけください。
- 学習のなかで、混雑する場所や高齢者施設等へ訪問する際や感染症が流行している場合は、マスクをするよう促すこともありますが強いるものではありません。

2 感染症予防について

- 手洗い、教室等での換気は、継続して実施します。

3 給食では

- 飛沫を飛ばさないように注意し、大声での会話は控えて食事をします。
- 感染症予防のための黙食は求めませんが、食べるのが遅いときや放送中は、黙って食べるよう促します。
- 4月のスタート時は、机を向かい合わせにせずに食事をします。配膳等に慣れてきてから、座席配置を検討していきます。
- 給食当番の際や配膳時は、コロナ以前と同様に全員マスクを着用します。給食用のマスクを各家庭で準備し、布袋に入れて持参させてください。マスクの材質は各家庭にお任せします。※マスクと布袋については別途お知らせいたします。

4 学習では

- グループ学習をするときは、少人数で行い、お互いの声が聞こえる程度の声で話すようにします。
- 一斉に大きな声を出す場合や合唱・器楽の演奏等は、向かい合わずに行います。
- 家庭科の試食の際は、その時の給食時の食べ方に揃えます。
- 器具や用具を使用するときは、密になりすぎることがないように、配置場所や使用順を工夫します。

これまで、毎日、着用してきたマスクを外すことに慣れないお子様もいることと思います。

4月7日の始業式に登校するときは、「マスクを外して登校していいこと」、「不安がある場合はマスクをしていてもいいこと」、「マスクをつけていても、つけていなくてもお互いに認め合うこと」を各学級で話します。

ご家庭でも、お子様とともに、マスクの着用について、十分お話しいたさますようお願いいたします。